

大会参加のご案内

この度は、2017年彩の国トライアスロン北川辺大会/第22回関東トライアスロン選手権大会へお申し込み頂き誠にありがとうございます。以下のご案内をよく読み、万全のコンディションでご参加ください。

最重要注意事項

- ① 大会期間中、大会会場(駐車場等も含む)において「ヘルメット未着用」のバイク走行が発見された場合は理由、時間のいかに問わず(試走・調整・競技後も含む)「失格」とさせていただきます。(ローカルルール)
- ② 彩の国の各タイプは全てドラフティング禁止です。厳しく審判員による監視を行います。ルールに則ったバイク競技をお願い致します。(JTU競技規則第87条)

- あなたのレース No. は、封筒の宛名欄に記されています。また、参加種目や性別も記入してありますので間違いが無いかご確認下さい。もし間違いが御座いましたら下記大会事務局までご一報下さい。
関東選手権は男子 1~80、女子 81~100 です。彩の国 A101~、彩の国 B301~、彩の国 C501~、高校生 601~です。
- 埼玉県トライアスロン連合(STU)では環境に配慮した大会運営に取り組んでいます。ご協力お願い致します。
✓ ごみの分別徹底…『プラスチック類』、『生ゴミ』、『紙類』、『ペットボトル』、『缶・ビン』、『紙コップ』に分別して捨ててください。
『ペットボトル』はラベルフィルム、キャップをはずし、つぶして捨ててください。
✓ 安全ピンの回収…安全ピンを回収し次大会等で再利用します。不要の安全ピンをお持ちの方はぜひご持参下さい。
- 駐車場は中央エントランスの坂を下って『右側奥』大会関係者専用駐車場(看板設置 案内図別添)をご利用ください。
右側にある通常の駐車場は『一般来園者』の為に空けて頂きますようご協力お願い致します。

1. 競技コース(添付のコース図参照)

彩の国 A タイプ	: S2.25km(0.75km * 3 周)、B60km(10km * 6 周)、R15km(2.5km * 6 周)
彩の国 B タイプ	: S1.5km(0.75km * 2 周)、B40km(10km * 4 周)、R10km(2.5km * 4 周)
彩の国 C(高校生含む)タイプ	: S0.75km(0.75km * 1 周)、B20km(10km * 2 周)、R5km(2.5km * 2 周)
関東選手権	: S1.5km(0.75km * 2 周)、B40km(6.7km * 6 周)、R10km(2.5km * 4 周)

2. 大会当日の予定タイムスケジュール

6月3日(土)コース下見用バイクコース通行許可	: 午後 3:00~4:00(遊水地南流入堤部分)(彩の国・関東選手権共通)
6月4日(日)彩の国 受付	: 午前 6:00~7:00
トランジションエリア開放時刻	: 午前 6:00~7:10
バイクコース試走	: 午前 6:00~7:00 (6:45 にバイク試走のスタートを締切ります。)
開会式	: 午前 7:15~7:25 (スイムスタート地点)
Cタイプスタート	: 午前 7:30 (競技終了予定午前 11:20)
Bタイプスタート	: 午前 7:32 (競技終了予定午前 11:22)
Aタイプスタート	: 午前 7:34 (競技終了予定午後 12:34)

彩の国 A、B、C、高校生各部門の表彰対象者の盾等の授与は総合結果が確定次第行います。総合 1~6 位、年代別 1~3 位に入賞された方は各競技終了 30 分後ぐらいに『大会本部』に表彰盾及び副賞などを取りに来てください。多少授与時間が前後することがありますがご了承ください。

6月4日(日)関東選手権 受付	: 午前 8:00~9:30 (午前 6:00~7:00 でも可)
バイクコース試走	: 午前 8:30~9:30(彩の国競技中の為係員の誘導に従ってください。)
競技説明会	: 午前 10:00~10:30(スイムスタートエリア)
選手バイクチェックイン	: 午前 10:30~10:50(女子)、午前 11:40~0:00(男子)
スタート	: 午前 11:10(女子)、午後 0:30(男子)
競技終了予定	: 午後 2:50
表彰式/閉会式予定	: 午後 3:00~

3. 諸注意事項

受付:受付テントで以下の手続きをして下さい。(受付時間はタイムスケジュール参照)

- ヘルメット検査(JTU 競技規則第 85 条の規定に反しないものに限る。外傷はないか、ストラップは緩くないか)を行います。ヘルメットを被って受付へお越し下さい。
- 同封したルールクイズの回答をスタッフにご提示下さい。全問正解・理解したことを審判員が確認した後、受付になります。
- 大会プログラム、ラベルシール(バイク・ヘルメット各 1 枚)2 枚、参加賞(ポロシャツ)等を配布。
- 「レースナンバー」は、彩の国は 2 枚配布(バイクラン共通用)。選手権は 1 枚配布(バイクラン共通)。
- 「ボディナンバリング」は、彩の国は実施しません。選手権は実施します。(受付時にタトゥーシール(2枚)を配布します。)

開会式・競技説明会

- 彩の国開会式はスタート直前にスタート地点で、関東選手権競技説明会は10時から本部周辺で行います。

彩の国ランジションエリア(TA)

- 彩の国TA(本部テント裏に設営)へは選手のみ立ち入ることができます。又、たとえ選手であってもレース開始から最後の競技者がバイクを終了しエリア開放のアナウンスがあるまでは、レース中の選手以外は立ち入り禁止です。選手は必ずレースナンバーを示してご入場下さい。(盗難防止のため、エリア管理にご協力下さい。)
- TAの中には競技に関係のない荷物の持ち込みはご遠慮下さい。貴重品は選手個人で管理して下さい。

関東選手権ランジションエリア(TA)及びホイールストップ

- TAは本部テント周辺の路上に2ヶ所(TA1、TA2)設置されます。レース開始前までに必要道具を各自セットしてください。TA1:スイム終了後、バイクは固定ラックにナンバリングされた場所にセット。TA2:バイク終了後、バイクフリーラック、ラン用具はナンバリングされたカゴにセット。
- ホイールストップをTA2前に設置します。預託物には必ずレースナンバー・氏名等を書いて、置いて下さい

計測方法について

- 計時用アンクルバンドにて行います。スイムスタート地点でお渡しますので、右足首に装着して下さい。スイムスタート **10分前**までにお越し下さい。(アンクルバンドは貸与品です。レース後必ずお返し下さい。)

周回チェック

- スイム、バイク、ランのいずれも周回数のカウントは参加選手各自が行ない、競技を進めて下さい。周回数をご自分で認識するための補助として、バイクにはサイクルコンピューターの装着を推奨します。
- スイムにおいて、彩の国A・Bタイプ及び関東選手権は複数回スイムコースを周回しますが、周回終了毎に一旦上陸して陸上のブイを回り再び入水して下さい。ここに計測用マットが敷かれていますので、周回数は自動的に計測されます。同様にバイク、ランは、コース上に設置された計測マットで、周回数は自動的に計測されます。
- 競技運営においては、①スイム・バイク・ラン計測時の周回チェック数、②各選手のパート別(S/B/R)タイム、の両方を総合的に勘案し、正しく選手が周回したかどうかを判断します。

給水について

- 給水箇所は3か所です。スイムフィニッシュ後、ランコース1周回(2.5km)中に2か所(1.5km地点、2.4km地点)

レース前の試走について

- できるだけ選手はコースの下見を行うことをお勧めします。
- バイクコースは南端の機場のゲートを前日午後3時~4時、当日6時~開き通行許可します。
- ランコースも下見をすることをおすすめします。自転車で行けば、1周(2.5km)をわずか10分程度です。たとえ十分なコース誘導がなくとも、選手はコースを事前に知っている義務があります(JTU競技規則第23条)。

競技結果速報発表

- 本部前の掲示欄に発表します。結果に対する抗議、質問等は、掲示後30分以内にまず口頭で審判長へ申し出て下さい。

表彰式・閉会式

- フィニッシュゲート前で行います。各部門に入賞された方で表彰式へ出られない場合は必ず本部へご連絡下さい。
- 表彰対象:彩の国・高校生・関東選手権共に男女総合1~6位。年代別40才代・50才代・60才代・70才代の1~3位。完走証・記録は後日郵送致します。

その他

- 荒天で競技の安全確保が困難な場合は競技内容の変更もしくは全競技を中止することがあります。
- ケガ、体調異常等により競技続行が不可能と判断された場合、役員が競技を中止させることがあります。
- **競技中、競技外を問わずゴミは各自持ち帰りをお願いします。ポイ捨ては厳禁です。**

4.競技ルール

日本トライアスロン連合(JTU)競技規則に準じます。(アンダーラインはペナルティになり易い違反)

- 助言、助力、伴走など、第三者から選手への個人的援助の禁止。(JTU競技規則第27条)
- 規定用具、ウェアの着用、バイクでは硬質ヘルメット着用義務。(JTU競技規則第31条、60条、78条、85条)
- レースナンバー、ナンバーステッカー等の着用・明示義務(JTU競技規則第37条)
- ヘッドホン類、ガラス容器の使用、通信機器(携帯電話等)の携帯は禁止。(JTU競技規則第41条)
- TA内でのバイク乗車禁止。(JTU競技規則第70条)
- 乗車時ヘルメットのストラップは**バイクを取出す前に必ずしめる**。降車時は**バイクをラックに掛けてから初めてストラップを外すこと**。
- (彩の国) **ドラフティングの禁止**。ドラフティングとはバイク競技において、他の競技者や大会車両などの後ろに付いて風の抵抗を避けて競技する行為をいう。競技者はその各自のバイク先端から後方7m*横3m(左右1.5mずつ)の競技スペースが他の競技者のそれと重なり合わないようにして競技して下さい。この競技スペースが重なり合うことが許されるのは追い越し中の15秒間のみ。前走者との車間距離が微妙で意図的に空力上の利点を得ようとしていると審判員が判断した場合は、15秒規定に関わらず違反と判定することがあります。
- (彩の国) **キープレフト走行及び並走の禁止**。キープレフトを守り競技を行う。(JTU競技規則第89条、第90条)

- (彩の国) **ブロッキングの禁止**: ブロッキングは集団走行の原因となりやすく、次の行為はペナルティの対象となる。(JTU競技規則第93条)
 - ①道路の中央寄りを走行して後続車の追い越しを妨げる
 - ②先行の選手を追い抜いた後に十分抜ききらず(7mの車間距離を開かず)に追い抜かれた選手の前に入る。
前方の選手を追い越すために車線変更する時は必ず右後方を確認し、後方から接近中の選手を妨げないようにして下さい。
- (関東選手権)ドラフティング許可レース。ホイール及びハンドルバーの仕様は基準を満たすこと。(JTU競技規則第43条、79条、100条)
- (関東選手権)スイムにおいて上半身裸で泳ぐことは禁止です。ウエットスーツについては、20度以上で着用禁止。(JTU競技規則第59条)
- (関東選手権)ユニフォームは、ワンピース形状でフロントジッパーのないもの。背面のジッパーの長さは30cm以下とします。日本選手権ではこの規定が厳密に適用されますし、さらに胸と臀部にローマ字で名字をプリントしてある競技スーツを着用することをお勧めします。
- (関東選手権)バイク乗降車方法(ITU競技規則準用)、乗車の際、選手の足が乗車ラインを越えて完全に片足の裏全体が地面についていること。降車の際、選手の足が降車ライン手前で完全に片足の裏全体が地面についていること。
- (関東選手権)バイクで先頭に周回遅れされた時点で DNF とします。他の競技者の邪魔にならないよう気を付けて、自力で本部まで戻り、計測用アンクルバンドを返還して下さい。
- (関東選手権) 次の各違反があった場合は、TA あるいはランペナルティボックス(PB)において 15 秒の SG ペナルティを課します。
(ITU 競技規則及び ローカルルール)
 1. スイムスタート直前の静粛時において、選手への声援行為の禁止、声援を受けた選手 ⇒TA1 で SG
 2. スイムスタートにおけるフライング(フォールススタート) ⇒TA1 で SG
 3. TA1 でゴーグル・キャップ等を自分用のトレイに入れない場合 ⇒PB で SG
 4. バイク終了時ヘルメットストラップ外しの違反(バイクラックに掛ける前以外) ⇒TA2 内で修正、或いは PB で SG
 5. バイク終了時ヘルメットを自分用に指定されたカゴに入れないで放置した場合。 ⇒PB で SG
 6. バイク乗車時乗車ラインを、降車時降車ラインを、守らずに競技した場合。 ⇒PB で SG

ローカルルール

- (彩の国) スイムでは、水温に関わらずウエットスーツの着用を義務とします。(遊水地使用条件です)
- (共通) **大会期間中大会会場でのバイク乗車はヘルメット着用を義務とします。競技前の違反は出場取消し、競技後の違反は失格とします。**
- (共通) TA1において、レース前のヘルメットのストラップは外した状態でセットすること。守られていない場合は、スイム競技中に審判員がストラップを外しておくことがあります。又、ストラップの長さが適切でない場合は、競技を停止し修正してもらうこととなります。
- (彩の国) バイクではサイクルメーターの装着を推奨します。
- (共通) 競技中は必ずレースナンバーを着けて下さい。バイクでは後面、ランでは前面につけて下さい。TA1 に必ずセットすること。
- (選手権) ボディナンバーシール(2枚)を、右腕横 + 右脛横に貼って競技して下さい。

5. 計時方法について

- 計時測定場所: ①スイムフィニッシュ地点②バイク周回地点③ランスタート地点④ランフィニッシュ地点の4ヶ所で行ないます。
- 計測方法: 計測用マットの上を通過して下さい。
- **計時用アンクルバンドは貸与品です。リタイアした場合必ずフィニッシュ地点の計時担当までご返却下さい。**

6. ペナルティ(ペナルティ裁定は競技終了後、理由と競技者ナンバーを公式掲示板に公表します。)

各種違反に対してストップアンドゴー(SG)及びタイムペナルティ(TP)などを適用。(JTU競技規則第110条、111条、112条)

- SG とは、「審判員から停止の指示があった場合は停止し、バイクの場合は自転車を降りて両手で自転車の両輪が完全に地面から離れるよう自転車を持ち上げ、次に審判員から「行きなさい」と指示されたら、競技に復帰できる」ルールです。バイク以外の場合は、違反状況や違反によるアドバンテージが修正されるまで、その場で停止させられます。
TPとは、競技中あるいは競技後選手本人に宣告され、状況に応じてペナルティタイムが加算されます。
これらのルールはレース中あらゆる機会に適用される可能性があります。極力 TP よりも SG を適用します。
 - 以下の場合には失格(DSQ)、或いは DNF 扱いとなります。(DSQ は以下の場合だけに限定されるわけではありません。)
- ✓ 目に余る危険行為、替え玉出場、ドーピング等の不正行為を行なった場合。
 - ✓ コースのショートカット、周回不足等で規定の距離をカバーしていない場合。(DNF)
 - ✓ レースナンバー、ナンバーステッカーの変造、改造を行なった場合。
 - ✓ 役員の指示に従わない場合。また、役員、ボランティアに対して暴言を吐いた場合。
 - ✓ 同一選手に対して警告や S&G ルールが繰り返し適用され、スポーツマン精神にもとると判断される場合。
 - ✓ 大会会場において大会期間中にヘルメット未着用で自転車に乗車した場合。
(レース前の裁定の場合は、スイムスタート地点に失格者のレースナンバーを発表し、計時されません。)
- 関東選手権のペナルティボックス(PB)は本部裏谷田川沿いのランコース上に設置します。違反を行った選手のレースナンバーがPB前のボードに掲示されますので、ラン競技中に該当選手自ら自分の番号が掲示されていることを確認して PB に入り、15秒間の停止措置を受けること。入らなかった場合は DSQ となります。

JTU 競技ルールの基本精神は、選手同士が自発的にルールを守り合うことです。危険行為や不正行為を行っている選手を見かけた場合、選手同士であってもその場で注意し合い、あるいはその事実を大会役員等に報告して適切な措置がとられることにより、違反選手への教育的効果に加えて今後の競技運営や参加者全体の利益に資することが期待されています。従って、参加者

の積極的な報告、意見を歓迎します。

又、**選手は競技ルールを守る義務がある一方、競技運営方法や裁定に対して異議を申し立てる権利があります。**

従って、一方的にルールを守ることを強要されるのではなく、大会の審議委員会(審判団からは独立した中立の組織)に対して所定の手続きに従って異議を申し立てることができます。詳しくは大会実行委員長までお問い合わせ下さい。

本大会では、JTU公認審判員資格を保持している参加選手にモニターマーシャル(MM)をお願いしています。選手の中にMMがおり選手同志で監視し合う体勢を導入していることをご理解下さい。

- 本大会でペナルティを受けた選手は、その選手が所属する都道府県協会・連合宛に、本大会実行委員会からその事実が報告され、選手は所属する競技団体から事後フォローを受けることになります。十分これらの背景をご理解の上、節度ある行動を取られることを期待します。

7. (彩の国)公式代走について

申込者本人がレースに参加できなくなった場合、その出場権を他の人に譲ることを公式に認めるものです。(注意:関東選手権には適用されません。)この手続きを経ずに、勝手に代走することは、重大なルール違反です。万一の場合の保険の問題も発生しますので、絶対におやめ下さい。発覚すれば通常、重い制裁(本大会失格に加えて、年間出場停止処分など)が科されます。

- 代走者は、
 - ①17年度 JTU 会員証(17年度会費振込証のコピー、スマホの登録画面提示等 17年度会員を証明できるものでも可)
 - ②手数料 1000 円
 - ③申込者署名の代走許可申請書(添付フォーム、署名若しくは捺印入り) の提出が必要です。
- 代走受付は当日朝受付にて承ります。なお事前に事務局あて電話等でお知らせ頂けると非常に助かります。

8. (彩の国)モニターマーシャル(MM)募集

JTU 公認審判員資格をお持ちの参加選手にMMのご案内を致します。応募希望者は事務局宛に、①現在資格、②レースナンバー他を電話、FAX 或いは Eメールでお申し込み下さい。

- この制度は、管理の難しい本競技を参加選手にも協力して頂き、より良いものにするを目的としています。MMIには、競技をしながら他選手の違反行為や危険について注意を喚起し、競技終了後に改善のためのご意見をお寄せ頂けることを期待しています。
- MMは選手の模範として競技して頂けるよう、レースナンバーに一般選手とは異なるマークを入れる予定です。
- これらの審判支援業務につきましては、JTU 関東ブロック技術委員会が応募者の所属する競技団体にご報告し、当該所属団体において技術審判活動の実績として評価して頂けるように手配をします。

9. その他

- 選手全員にお弁当が用意されています。なお食事後の生ごみ、弁当箱(紙)等の分別回収にご協力下さい。
- 貴重品等は各自で管理してください。『車のキーのみ』大会本部でお預かりいたします。
- 彩の国特に A タイプに出場される選手は、バイクに水分補給ボトルを2本用意することをお勧めします。バイク後半の時間帯に比較的遅い競技者を対象としてコース上に水分補給のエイドを置くことを予定していますが、基本的にバイク終了までは補給を受けずに走れるよう準備して下さい。
- 本大会では、参加者全員に対して大会傷害保険に加入致します。(詳細は保険約款によります)但し、外傷を伴わない疾病による事故(例えば心臓麻痺、心不全や腰痛)については保険金支払いの対象にはなりません。不十分とお考えの方は、御自分で更に保険にお入り下さるようお願いいたします。
- 不慮の事故に備えて、健康保険証の写しをご持参することをお勧めします。(提出は不要)
- 大会問い合わせ先: 〒359-1112 埼玉県所沢市泉町 906-35 彩の国トライアスロン大会実行委員会事務局 加藤稔
携帯:090-7216-3528 FAX04-2926-1831 E-mail: pi7m-ktu@asahi-net.or.jp

'17 彩の国トライアスロン大会実行委員会御中

2017 年 月 日

代 走 許 可 申 請 書 (注意: 関東選手権には適用されません)

私(甲)は、下記の者(乙)に私の出場権を譲渡し、

乙が'17 彩の国トライアスロン大会において、私のレースナンバーを付けて出場することを申請します。

出場権譲渡にあたり、私は乙に対して、私宛に送られてきた各種説明書類或いはその写しを全て渡し、乙が私と同様の条件で競技に臨むことが出来ることを保証します。私は、乙の成績の良否、乙の事故等による乙への損害の有無について、大会主催者に対して一切の異議申立てや支払請求等を行わないことを誓います。

甲(出場権譲渡者氏名) _____ レースナンバー _____ 番

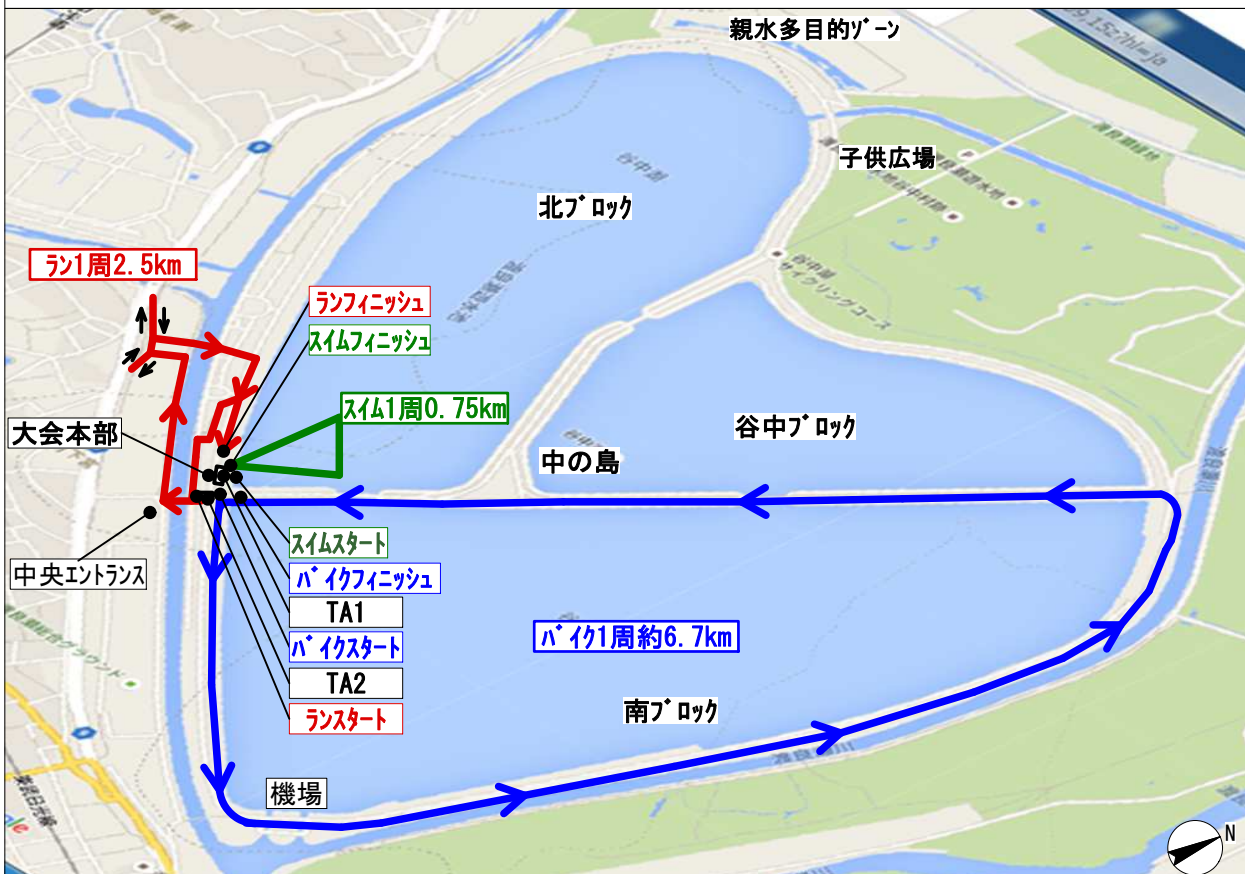
乙(代走者氏名) _____ JTU登録番号 _____ チックコード _____

(代走者 住所電話番号) 〒 _____ (_____)

□コース概要

関東選手権の部

S 1.5 km(2周)/B 40km(6周)/R 10km(4周) 計51.5 km



彩の国 A, B, C (高校生含) の部

A : S 2.25km(3周)/B 60km(6周)/R 15km(6周) 計77.25km

B : S 1.5 km(2周)/B 40km(4周)/R 10km(4周) 計51.5 km

C : S 0.75km(1周)/B 20km(2周)/R 5km(2周) 計25.75km



● 受付用、競技ルール理解クイズ

- Q1. ブロッキングとは
 A. スイムのスタート等で他の選手を蹴ったりひじうちを食わせたりすること。
 B. バイクで風避けとして前走車の後ろや横について走ること。
 C. バイクで逆走行すること。
 D. バイクで意図的であるかどうかに関わりなく他の選手の進路を妨げること。
- Q2. 本大会ではドラフティングは
 A. 彩の国、高校生の各タイプでは許可、関東選手権は禁止。
 B. 全て許可。
 C. 全て禁止。
 D. 関東選手権では許可、彩の国、高校生の各タイプでは禁止。
- Q3. ドラフティング禁止時、競技者がバイクで他の競技者に接近してはいけない範囲は
 A. 各選手の周辺4mの領域である。
 B. 各選手の先端から後方縦5m*幅2m(左右各1m)の領域である。
 C. 各選手の先端から後方縦10m*幅2m(左右各1m)の領域である。
 D. 各選手の先端から後方縦7m*幅3m(左右各1.5m)の領域である。
- Q4. もしもリタイアする事になったとき正しいのは、
 A. 近く係員にリタイアを伝え、アンクルバンドを渡すか可能なら自力で本部まで返却に行く。
 B. そのまま何もせず帰る。アンクルバンドは記念に持って帰る。
 C. 近く係員にリタイアする旨を伝えればよい。アンクルバンドは記念に持って帰る。
 D. 近くの審判員にレースナンバーをはずして渡す。アンクルバンドは記念に持って帰る。
- Q5. トランジションエリア(TA)にあるバイク撤収について正しいのは、
 A. 自分のフィニッシュ後、他の選手が競技中でも邪魔にならなければバイクを取り出せる。
 B. バイクの最終走者がランに出ていたら、いつでもTAに入ってバイクを取り出せる。
 C. レース中はいつでも、レースナンバーを見せればTAへの立ち入りが許される。
 D. バイクの最終走者が戻ってきて、TA解放のアナウンスがあってから、各自レースナンバーを出入口で見せて立ち入りが許される。
- Q6. 下記のうち正しいのは、
 A. ヘルメットは試走や移動中はかぶらなくてよい。
 B. ウェットスーツの規定は特に何もない。
 C. 配布されたスイムキャップは着用しなくてもよい。
 D. レースナンバーはランでは体前面につける。
- Q7. 下記のうち正しいのは、
 A. ペットボトルは『缶・ビン』に入れる。
 B. お弁当の残飯は『紙類』に入れる。
 C. スポーツと地球環境はまったく関係がないのでごみの分別等選手は何も考えなくてよい。
 D. 『プラスチック類』『生ゴミ』『紙類』『ペットボトル』『缶・ビン』に各自分別して捨てる。

ブロッキングルールは非常に重要です。(ドラフティング以上にルール違反が多いです)十分ご理解の上、ご参加ください。

アンクルバンドは高価なものです。選手に起因する紛失・破損の場合は再作成費を請求させていただきます。

私たちがトライアスロンを楽しめるのは『美しい地球』『きれいな空気』のおかげです。

以上

選手各自が、ご自分で上記質問の回答を考え下記解答欄にご記入の上、受付にご持参下さい。ヘルメットチェック時に審判員に提示ください。全問正解であれば受付手続きに進めます。

レースナンバー番 _____ 出場者氏名 _____

(封筒の宛名欄氏名の後ろに記されています)

質問番号	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7
答え							